

N E X T STAGE -仲間信じて羽ばたけ未来へ-

日立市立坂本中学校長

振り返れば、2月、3月。令和5年度の学校経営のキーワードを考えていたところ、生徒会長から発表された「N E X T STAGE -仲間信じて羽ばたけ未来へ-」を聞いて、決めました。「これでいこう。」と。職員会議で確認の上、次の生徒集会では、「私たちもその“仲間”に入れてくれないか。」と生徒たちをお願いして、それを取り入れました（後には、PTAにも「仲間に入ってください。」とお願いをしました）。閉校を目の前にした急激な生徒数の減少-これは、生徒のみならず、保護者、地域、教職員の自信と誇りを不安にさせるものと考えます。それを乗り越えるなんと力強い言葉でしょうか。

本校は昭和22年4月に開校以来創立77年目を迎える歴史と伝統を誇る学校です。テニスコートの前にたたずむ石碑に刻まれている校訓「強く、正しく、美しく」の具現化を、令和7年4月に閉校を目の前に今こそ、実現しなければなりません。

具体的には、生徒に対しては、生徒会等の自治的活動を通して主体性を育てること、一步踏み込んで、本校の伝統でもあるI B I (いじめ撲滅委員会)や地域のお年寄りへの手紙をかくこと、久慈川南交流センターへの吹奏楽部の積極的参加などは、地域と共にある学校として、大切にしていきます。

また、教員に対しては、情報共有を速やかにするよう求めています。333体制(3分以内の足を運んでの正確な実態把握、3時間以内の関係職員をあつめてのチームによる問題解決に向けた方策立案、3日以内の再発防止を含めた解決の糸口を掴む)を進めています。

どうぞ、今年度も日立市立坂本中学校をよろしく願いいたします。

令和5年4月1日